

れ 12月定例会が開催さ から13日の3日間 平成24年12月11日 9月定例会にお

の審議と発議2件が 締結について1件、 案 4 件、 承認案2件の16議案 工事請負の

じめ、平成24年度補 果の委員長報告をは 入歳出決算の審議結 いて平成23年度各歳

原案通り可決・承認 正案9件、条例改正

> 議 案

平成24年度南伊勢町 般会計補正予算 (第7号)

平成24年度南伊勢町 補正予算 国民健康保険特別会計 (第3号)

予算 介護保険特別会計補正 平成24年度南伊勢町 (第3号)

補正予算 簡易水道事業特別会計 平成24年度南伊勢町 (第3号)

補正予算 平成24年度南伊勢町 下水道事業特別会計 (第3号)

いました。

員13名が質問を行な

般質問では、

されました。

平成24年度南伊勢町 戸別合併処理浄化槽事 業特別会計補正予算

(第2号)

平成24年度南伊勢町 後期高齢者医療特別会 計補正予算(第2号)

平成24年度南伊勢町 上水道事業会計補正予 (第2号)

平成24年度南伊勢町 病院事業会計補正予算 (第2号)

南伊勢町営バス条例の 部を改正する条例

南伊勢町委員会の委員 等の報酬及び費用弁償 改正する条例 に関する条例の一部を

> を改正する条例 南伊勢町税条例の一

部

南伊勢町集落排水処理 する条例 施設条例の一部を改正

工事請負契約の締結に ついて

承 認

• 三重県市町公平委員会 する協議について 共団体の数の減少に関 を共同設置する地方公

関する協議について 三重県市町公平委員会 共同設置規約の変更に

発

議

南伊勢町議会委員会条 例の一部を改正する条

• 南伊勢町議会会議規則 の一部を改正する規則 について

認 定

認定 平成23年度南伊勢 般会計歲入歲出決算 町

業特別会計歳入歳出決 平成23年度南伊勢町 住宅新築資金等貸付事

歳入歳出決算認定 国民健康保険特別会計平成23年度南伊勢町

平成23年度南伊勢 歳出決算認定 介護保険特別会計歳入 町

> 簡易水道事業特別会計 平成23年度南伊勢町 歳入歳出決算認定

平成23年度南伊勢町 歳入歳出決算認定 下水道事業特別会計

平成23年度南伊勢町 決算認定 業特別会計歲入歲出 戸別合併処理浄化槽事

後期高齢者医療特別会 平成23年度南伊勢町 計歲入歲出決算認定

平成23年度南伊勢町 病院事業会計決算認定

定 上水道事業会計決算認 平成23年度南伊 勢町

全議案全員賛成

0) 以下、 1件がありました。 農業委員の推薦

どのような事業か

問 栽培事業の説明を。 議員 新規作物試験

町にとっても雇用の場の りたいと提案があり、計 新規就農者の確保等いろ 創出や地元食材の活用、 より地域の活性化をはか を聞かせていただき、 5月末にブドウ栽培に

方をお願いする予定であ との共同試験栽培事業と があり、地域活性化が期 いろな方面において効果 業普及センターに指導の 培については、三重県農 ただいた。また、試験栽 待できるので、今回、 して予算計上をさせてい 町

事業の内容は

化支援事業の内容は。 問 議員 産地水産業強

水産農林課長

整備を行なう事業である。 るマグロが来年秋の初出 冷凍・保管・出荷施設の 荷に合わせ、本年度から 神前浦で畜養されてい

支援金の内容は

問 援金の内容は。 議員 新規就農者支

水産農林課長

間もない期間の経営を安 ていく。 定化させ、 最長5年給付する。 の補助金を年間150万、 目的としては就農後、 新たな就農者に対し国 定着をはかっ

必要となるが 議会の承認が

うが、いつ頃を予定して 問 が必要となってくると思 土地購入費で、議会承認 いるのか。 議員 常備消防費の

をしていただいた時点で の交渉がまとまり次第の る お願いしたいと考えてい 結果となるので、仮契約 防災課長 地権者と

施設整備が行なわれる神前港

進捗状況は南島分署移転の

今の進捗状況は。 問 議員 土地購入費で

最中である。 実施していただいている なって、今、測量作業を 設計積算業務委託を行 に路線測量、 防災課長 用地測量 11 月 2 日



平成25年度事業完了予定(阿曽浦)

総事業費と 完了予定は

阿曽浦工事請負費であと 問 何年で完成するのか、ま 全体の事業費の額は 議員 漁港建設費の

水産農林課長

成25年度、来年をもって 6千万円を予定している。 完了したい。 計画年度としては、平 全体の事業費は、 4 億

減額の内容は

減額内容は。 136万5、 問 議員 衛星携帯電話 0 0 0 肖の

答 防災課長 衛星携帯 電話購入台数5台は変 0) が出てきているので、 分、 最近、安価に衛星携帯 減額させていただ そ

国道の整備促進を

用地の件も解決

町長



山本芳隆議員

は。整備区間の改良の見通し 間の早期完成と、

道方~東宮区間、 木谷~宿浦区間、 他の未 錦峠区

国道260号線

志摩市側の用 木谷工 地

の棚橋工区は平成26年度 ル工事に入る予定。 決する見込みで、トンネ 年明けには用地の件も解 なった。南島バイパスは、 件も解決し、 までの工 事が可能と トンネル坑



早期完成を (R260 木谷工区)

て早急な整備を進めるべ

む中で、 体制整備と、高齢化が進 保健、 の一元化のための 拠点整備も含め 医療、 介護

提供していくための方法 様なサービスを連動し、 的に提供されていない。 て保健、医療、介護の多 一元化ビジョンにおい

早急な体制整備を

体制を明確に 町長

な社会資源や取り 町には色々

断片化さ 防災、

南勢地域産業振興につ

れていて、連動して一元

組みがあるが、



社会福祉協議会(包括支援センター)

その他の質問

転について 公共施設高台移 伊久雄 議員

楽しみ」をつくりたい。

「健康で長生きができる

東

スポーツ振興政策は

それぞれの年代で対応

町長

学校存続を(南伊勢高校 南勢校舎)

いるのか。町長はどのように考えて えるスポーツ振興政策を 問 み、町に活力を与すぐれた人材を育



町長子供には、

ざすことのできる環境」

利用数が増加 町営総合グランド(伊勢路)

どうなる さまざまな支援をしていきたい 町長 南伊勢高校

ような対応をとっている どうなるのか、町はどの と聞くが、南伊勢高校は 問 の再編をしている 県教委が県立高校

者が増えるよう、様々な 勢校舎の存在は大きいの 若者定住を考えるにも南 となっている。町の活性化、 支援をしていきたい。 で、存続のため入学志願

校南勢校舎は一定の入学 案では、 県教委の原 南伊勢高

・獣害対策について

者があれば、存続される

その他の質問

●統合校舎の跡地利用に ついて



田中喜一郎 議員

財政健全化の促進を

民の医療サービスを充実 問 を維持し、地域住 町立病院の公共性 い課題であると認識

病院事務長

るが。

公立病院事業は、

からも、喫緊の課題であ域住民の医療を守る視点 れなければならず、町立両者の均衡の上に経営さ 病院の財政健全化は、地 全化は必要であると考え させるためにも、財政健 企業としての経済性の追 公共目的の追求の

目指せ健全化(町立病院)



町独自の支援が必要と考 な考えはどうか。 える。予算編成の基本的 を持ち続けるためにも、

| の希望、生きがい| 若い世代が、将来

ると認識している。

若い世代に配慮を

役場一丸となって 町長

取り組む。若者定住促進 課題の一つであり、役場 プロジェクトで議論を進 一丸となって総合行政で 策は、 若者定住対 重要な政策

できるものは予算化して

いきたい。

め、来年度予算で事業化



いそげ、促進プロジェクト



松葉和久議員

アされ、

地域住民の賛同

町と

論もあり、これらがクリ による健康被害などの議

風力発電は、

低周波音

しても協力し進めていき の上で進めるなら、

風力発電の計画は

地域住民の賛同の上 町長

長の考えを示していただの動向とそれに対する町計画が出ているが、現在 画が出ているが、

問 勢町に風力発電所 度会町と南伊

ている。 については協議中となっ 1地区が同意し、1地区のうち、 本町の 関係



風力発電(北海道せたな町)

町として進めていくこと

団の土地も少ないため、

は難しいと考える。民間

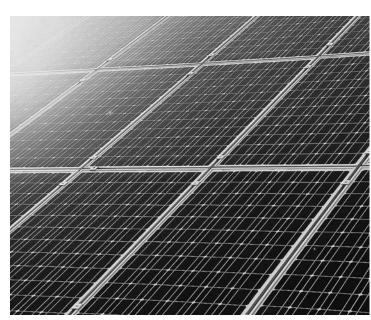
企業が民間事業として進

としては期待したい。 めていただけるなら、

町長の考えを伺いたい。

の建設について、 メガソーラ発電所

状況の中で、町所有の一 多く平地が少ない 急峻な山が



各地で取り組みが進む (メガソーラー)

メガソーラ発電は

関心をもっているが

町長

統廃合・移転計画は

検討中である 町長



掛橋 靖 議員



より安全・安心なところで

画は。

保育所統廃合及び移転計 防災、 まえた南島地区の 少子化を踏

らに海抜数メートルの低 施設・設備の老朽化、 ら園児数の減 少子化等 さ

検討委員会において検討 必要があると考え、現在、 育所のあり方を検討する や高台移転も視野に、 めているものの、 地に立地している施設が 心・安全のため、 避難路の整備は進 より安 統廃合 保

> 題は。 されたが、 の 間 充実を目的として整備 ンターが地域医療 南島メディカル その成果と課

セ

の人数で推移している。

者数とも前年同期と同様 老健施設・水脈の郷入所来患者数、入院患者数、 検査機器も新しくし、稼 上半期の実績を見ると外 10ヶ月に入ったが 新築移転し

内科を新設するなど、積ている。また新たに胃腸 極的な運営を続けている。 稼動も前年度対比で増え 訪問看護センターの 被受検者数も増加

センターが、南島地域のあるが、町とメディカル 課題の解消に取り組んで としての認識を共有し、 問診療・訪問リハビリが 救急の受入れ態勢や、 医療と介護を支える拠点 実施しにくいなど課題は 足は解消できておらず、 いきたいと考えている。 しかし医師・看護師不 訪



安心の源(南島メディカルセンター)

その他の質問

7

絆プランの実現に向け 学校教育の充実と環境 整備について

課題の解消に取り組みたい

地域医療の充実を

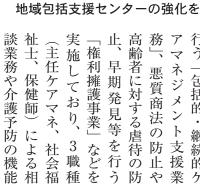
町長

それぞれ強化を図っている

町長

への具体的な内容は。

吉 ター機能強化推進 地域包括支援セン



専門員に対する支援等を 制作りや個々の介護支援 ネジメント業務」、 における連携・協働の体 を行う「介護予防ケアマ 状態にならないよう支援 総合相談事業」、要介護 者や家族に対する 現在、 地域

行う「包括的・継続的ケ アマネジメント支援業 悪質商法の防止や

高齢者に対する虐待の防 早期発見等を行う 3 職種 などを



実施に向け検討 町長

問 | の拡大は。 | 子供医療費無料化

9月からの実施に向けて 卒業までの拡大を、来年 に関 を実施してきた。中学校 て所得に関係なく無料化 までの医療費助成 町単独事業とし

強化を図っている。

山本周也議員

その他の質問

小学校終了

- 町立病院の将来ビジョ ンについて
- ●町職員の懲戒の取り扱 いについて
- 不明問題の終結へ向け ての町の対応について



負担軽減を



盛 議員 中山

町長



グランドゴルフで健康強化

政力指数もよく、高齢化比率も低い。本町で65才以上の方の医療費一部負担金を計算すると、約4億円代後半になる。一般会計の町単独の財源で負担することは、高齢化比率の高い本町にとって、 政力指数もよく、高齢化実施している自治体は財 ざるを得ない。 現在、

研究・調査し、近年中の度を、我が町においても 実施を検討されては。 高齢者(65才以上)



防災対策は徹底的にやるべきだ

教育長

来年度も引き続き 各地区で行なう

町長 来年度の経済施策は

総合計画 の

予算に定め実施する

町長

学校教育の重点目標と施策は

「学力向上」と「防災学習」を進める

眞 議員 岡本

なう。

施策は。 問 来年度の重点目標と 組みたい重点目標 と教育は重要であ 私が取り

ウムは素晴らしかった。

表や意見交換会も意義深 南伊勢高生の取り組み発

あらためて防災対策

町の将来を考える

間

津波防災シンポジ 11月に開催された

ので、 ち 向けての最終準備の年な 南島地区の中学校統合に 習」である。 くり」、そして、子供た は3つ。「学力向上」と 各学校の交流を活発に行 「地域に根ざした学校づ それに加え、来年度は が自ら学ぶ 順調に進むように 「防災学

ウムをはじめ、各地区で

年度の取り組みは。 の必要性を実感した。

や復旧、 いく準備に取り組む。 でいく地域づくりをして 助・共助による減災活動 災時には住民自身が自 な取り組みとしては、 継続していきたい。 伊勢高校との取り組みも き続き行ない、また、 体が講演会や勉強会を引 実施してきた各組織、 復興に取り組ん 新 防 た 南



多くの町民が参加(町民文化会館)

総合計 画 0

経済の活性化は重要であ 来年度の経済施策は。

える本町において、数多くの課題を抱

を図る施策を考えていく。 町全体としては観光振興 て、農業は鳥獣害対策を、 産業は経営安定化に向け 予算に定め実施する。 単年度計画である 水

在宅介護者へ入浴サービスを

検討を要する課題である



岡田和夫議員

町長

と思う。来年度から、町町長の基本方針だ 浴サービスを実施しては。 として在宅介護者への入

から、 考えた場合、検討を要す の介護サービスの充実を めている。しかし、今後 と、デイサービスの充実 る課題だと認識している。 れる介護者の環境課題等 現在事業をとりや よる課題、利用さ 制度改正に



多様な在宅介護サービス

る施策は。 高台に住宅建設を促進す の低い場所に住宅を新築 する住民はいなくなった。

課題を踏まえて |機に町内では海抜|東日本大震災を契 これから検討する

町長

高台に住宅建設を促進する施策を

津波等防災

問

れから検討していきたい。 の整備も必要なので、こ の調査や道路、上下水道 受け入れもあわせて適地 を優先に捉えて、 考える。今後、若者定住 の住宅建設促進は必要と の観点から高台へ 移住者

- ●町立病院の今後の見通 しについて
- 中電の芦浜原発用地に 対する打診と町の考え について

澤村圭也議員

状況によっては 検討していく

高齢者に対して、

用者の幅を広げては。 問 緊急通報装置の利 一人暮らしの高齢 | この制度は



みの世帯」にも病歴や身点において、「高齢者の

速かつ適切な対応という 病や災害等の緊急時に敏 ている。家庭において急 活できることを目的とし 者に対して、安心して生

検討していく。

体状況によっては、

安心して暮らすために (緊急通報装置)

町長

は。区があるが、今後の計画所が確保されていない地 吉

| 高台に2次避難場| 町内38地区には、

浸水が想定される 場所の見直しを検討中 町長

定及び県の浸水想定を踏 見直しを検討して 巨大地震の浸水想 南海トラフ

保できない地区は、

隣接

2次避難場所が確

の地区へ避難してもらう。



1次避難場所から2次避難場所へ(南勢中学校)



登校する生徒(南勢中学校)

則孝議員

西

町長

に対し、医療費無 小学生までの児童

中学生まで延長されない 料化は実施されているが、

いく。の実施に向けて検討して 化拡大を、来年9月から 業までの子供医療費無料 きる支援として、中学卒 子供をうみ、子育てがで 誰もが安心して、 対策の重要な柱と 少子高齢化

鳥獣害による、

生

肉体的な生活被害を生じ

策 効は、果、 での悪影響、駆除数その 活環境、 及び今後の防止対 町づくり

には妨げとなり、 農林水産業の振興 鳥獣被害は、 日常生 効果については、 回の調査を実施している。 合計1、764頭である。

· 毎月2

策に取り組んでいく。 ぐるみの総合的な獣害対

地域

活においても、 精神的、

させる。 サル、シカ、イノシシ、 は毎年増加し、 鳥獣の駆除数において 23年度は、 補助金制度を設け、

またそれに伴い、新たな 策の両面から実施する。 は出ていないが、 止対策は、 はっきりとした調査結果 査をしていく。今後の防 防御、 駆除対 継続調

害防止対策について



新兵器大型捕獲おり(サークルD)

林 孝充議員

|\学校統合後の交流事業は

子供教育には大切な事業 教育長



エサやり体験(きらりふれあいの会)

間

防災・復興の課題

課題は多いが

生命を一番に

町長・教育長

事業は継続されるのか。 学校と夏、冬2回の交流 会を35年間継続している 小学校統合後の交流 岐阜県の久々野小

の代表で構成されるPT 統合後の継続については、 合推進委員会と、PTA 小学校校長で構成する統 大きく成長させてくれる。 様々な面で子供を 交流会は

を要する地域等におい

ては、盛り土による避

長い津波は閉鎖する。

鎖しない。到達時間のの地震については、閉

①防潮扉の閉鎖について

|町長・教育長

は、三重県内及び近海

A部会で、これから決め ②一次避難場所まで時間

調査をする。

難場所、避難タワー

②避難タワー等の建設は。 ④県配布の防災ノートの ③復興計画について。 活用は。

れている。

④県より、学校に配布さ 災学習」に有効活用さ れた防災ノートは 画を検討していく。 各地区と共に計 「防

その他の質問

①防潮扉の対応について。

③行政の役割は、 戻す復興計画が必要と 民の意欲と活力を取り 支援する事であり、 共助」の取り組みを 「自助 町



各学校へ配布(防災ノート)

●観光対策について

重度障害者の願い

町バス・デマンドバス、介護者も無料 町長



手塚征男議員

ついての政策は。

で生活のできる施設を願 が出来ない、また、故郷 重度障害者の救済に | バスを利用する事 | 町バス、デマンド

町長 町バスの介護

が必要か、確保はどうかおいては、どの様な施設 等の議論をしていただい ていただきたい。 行なっているので相談し いる。 移動支援サービスも 利用は無料となって 地域支援事業とし 施設に



町民の足 デマンドバス

査をしているか。行政の プローチをしているか調 団体にどの様なア 電力会社が、町民・

貫して申しあげているが、 発による考えはない。 査はしていない。私は一 本町の町づくりには、

原発についての考えは。

原発建設の動向は

安全・安心の町づくり 町長

| 町長| 電力会社 電力会社の 調

・公金横領問題について その他の質問



広がる自然エネルギーへの意識

まちかどツイッター

故郷の思い出

私は、息子(1歳8ヶ月)と宿田曽海まつりをみにいきました。魚つかみ・海上綱引き・ヨット遊覧・舞台での早食い競争等、私が小学生時代に参加した競技が行なわれており、また、出店も多く並び、競技の楽しかったこと、父、母、弟と食べた「辰屋」の天むすのうまかったことを思い出し、故郷の思い出は温かく感じました。

また、神祭には、神輿を見た息子が、家にて「ピッピ、ピッピ、ピッピ、ワッショイ、ワッショイ」と叫び、「ドンドン」とおもちゃの太鼓をたたく姿を眺めますと、息子に沢山の故郷の思い出を作ってやりたいと思いました。

30代男性

避難所について思う

①第2次避難場所については、炊事場所・炊事器具等が必要不可欠と思っていますので、設置、準備等をお願いしたいです。

②田曽浦の防波堤の灯台は、小さなソーラーにて照らしています。海岸の外灯等についても、ソーラーに替えてはと思います。

③在宅介護においては、働き盛りの人 (子ども等)が仕事をしたくても出来ない、更に現在働いている職場を辞めなければならないのが現状かと思います。この様な在宅介護世帯には、幾らかの経済的支援が必要と思います。

70代男性

南伊勢が一番

たくさんの緑ときれいな青い海に囲まれて、お年寄りから小さい子供たち、みんな笑顔があふれている。

サニー道路を下ってくるとそこから見 える景色は最高にきれいです。

他所に出ていっている友達が、帰省するたびに口を揃えていう言葉。

「本当にホッとする町やよな。」 その通りやなと思います。

空気もきれい、食べ物もおいしい。 (少しくらい不便なコトがあっても)大 好きな南伊勢町で、今までもこれからも 過ごしていける私はとても幸せ者です。

20代女性

南伊勢町をはなれて

私は小学校低学年までこの南伊勢町 (旧南島)で過ごしました。父の仕事の 都合でここを離れるまでは、友だちも沢 山いて、おじいちゃん、おばあちゃんも 近くに住んでいて、毎日が本当に楽しか ったです。転校してからもお祭りや夏休 み、そしてお正月に帰ってくることが待 ち遠しかったです。

今は結婚して市内に住んでいますが、 子育ての環境を考えると、地元で安心し て生活したかったです。ただ、地元に残 っている友達ともよく話しますが、子供 の進学のことを考えると、教育環境や通 学の不備が不安で、地元での生活は無理 だと思います。

30代女性

多くのご意見、ご協力を頂き、ありがとうございます。

ご意見がございましたら、200字程度でファックスか郵送で議会事務局までお寄せください。 〒516-0194 南伊勢町議会事務局宛 FAX 0599-66-2164

奥尻島に

事が甦るものでした。

奥尻島は人口3、00

まっており、

早急に防災

語で「イク・シュン・シ 民の文化が栄え、アイヌ

で命名されたとのこと。 リ(向こうの島)」の意味

周囲を海で囲まれた島

が発生する確率が高

南

海プレー

ト型巨大地

km²

で、古くから北方海洋

余り、

面積142:9

受けた奥尻島を視察しま 対策をして、 西沖地震で大きな被害を われている時、 る事が政治の使命とも言 1日目に訪れた青苗地 中で上映され 減災をはか 北海道南 そし

の島」であったそうです。

平成5年7月12日午後

の高級食材を有した「夢 価の高いウニ、アワビなど 資源に恵まれ、グルメに評 であるため、豊富な水産

害の記録 るドキュメント映像 後世に伝える為に作られ 興支援の感謝の気持ちを て全国から寄せられた復 災害の記億と教訓、 した北海道南西沖地震の 島に大きな被害をもたら 区の奥尻島津波館は奥尻 はあの日 1の惨

> を震源とする地震が発生、 10時17分、島の北部沖合

たそうです。

震源の深さ34㎞、マグニ

とです。 は30mにもなったとのこ り返し押し寄せ、 る津波は幾度となく、 全体を襲い、 島に到達し、 その後、 10 mを越え 最大波 く 島

倒

あ

中、必死のおもいで逃げ におびえながら、暗闇の 地域を襲い、人々は轟音 となって増幅され、この 付近の海底の地形が災い りました。 地区では最大の惨事とな 対方向)に位置する青苗 津波はこの地区の海岸

ころへ〉 事、より速くより高いと 〈とにかく、すぐ逃げる

反 時間 翌日、発生した火災は11 されていました。地震の 新しいまちづくりについ たと言います。 人々はなすすべがなかっ 復旧、 余りも燃え続け、 復興が進む中、

島の南側

(震源とは

する住民には、土地を高 険な地域は一旦町が全部 師は海の見えない所には くして防災対策をして再 もこの地に住む事を希望 住めないと言い続け、 転を提案しましたが、 を買い取って、どうして 行われました。 行政は集団での高台移 連日連夜の説明会が

び人々に譲り渡したとの

音山の大崩壊はホテル、 役場のある奥尻地区の観 建物の倒壊、

地割れ、陥

崖地崩壊が発生し、

烈震でした。強い揺れは りますが、震度6以上の 地震計がなく、推定であ チュード78、当時、島には

に島の復興

大津波は時速500 mも スピードで3分後には

震源地域で発生した巨

した。

ンクを一

瞬のうちにのみ

レストラン、

灯油備蓄タ

込んでの大惨事となりま

より速くより高いところへ

れた四角の灯台が修復 たりには地震で 難路と誘導灯、 シンボル的な存在のなべ すみやかに移動できるよ 時空翔、漁港から高台へ には、全て整備された避 つる岩、人が住むところ 建設された防潮堤や島の 50億もの国費を投じて 復興支援によって、

漁 危 ました。 パワーポイントによる詳 細な説明を受けた後、質 の隣にある議会棟に入り、 の河原等を見学後、役場 う建設された望海橋、 疑応答に応じていただき

訪れました。 わび種苗育成センターを 畑を見学、近くの町営あ にあるワイン用のブドウ 2日目は宿泊施設の 傍

には、14万個のあわびが 奥尻でも、取る漁業から あるとのこと。この施設 育てる漁業へと移りつつ 育成されていました。 資源がまだまだ豊かな

慰霊碑の 3 ことは、

賽 後に「完全復興宣言」 害にもかかわらず、 できたのは 古い歴史をもち、 島の魅力 島・宝の島といわれ

夢の

と感じ、 全国からの多大な支援 けた復旧復興 なって、 行政と住民が一 尻島民の底力 とが、自分たちの使命 憶と教訓を全国にそし さないため、災害の記 な悲劇を2度と繰り返 協力に対し、このよう て後世に伝えていくこ ともに進み続 がんばった奥 体と

早い備えをすべき事を痛 伊勢町のため、 これらの点を強く感じ、 紙から町づくりを進 先人の歩みを学 一日も び、 め 白

2日間

の視察で感じた

あ

の壊滅的な被

5 年

が

しています。

高齢者の医療費を無料と 村長時代から65歳以上の

り、

この村では、

3 代前

0

全国トップの「原村」 高齢者が元気で働く

としています。

平成24年度からは18歳 件)。子ども医療費では、

(本町は12歳) まで無料

3子は無料としています

(本町は同時入所が条

ても第2子は半額に、第

野県は、

男性の平均

属の看護師の配置など、

村の人口が毎年40

他にも、保育所への専

と比べると大変低いので 国で一位。その高齢者が 訪市や茅野市などに就職 進学した若者が近隣の諏 出荷額は全国一位です。 は農業で、夏場のセロリ 860人の村の中心産業 のトップが原村とのこと。 元気で働いている長野県 寿命と高齢者就業率が全 原村の高齢化率は28・ 八ヶ岳山麓の人口7、 通勤ができるからと その要因は、大学に 南伊勢町の44% 策は、 新築移転しました。 月1日に町立辰野病院を 要因です。 ~50人増えている大きな きる村の環境づくりを進 の辰野町は、平成24年10 めています。これらの施 若者が安心して子育てで

> そして住民から新築に対 えて、病院の新築を決断 町長は、将来の地震に備 の東日本大震災でした。 切らせたのは、昨年3月 声があったためです。 する財政面での消極的な 字経営が続いていたこと です。それは、病院の赤 はためらいがあったそう られながら、 病院は、 町長のためらいを思い 新築計画が進 辰野町長に

保育料を同時入所でなく

若者の子育て支援として

高齢者福祉だけでなく

にも力を入れています。 主としており、リハビリ から回復期、 したのです。 辰野病院は、二次救急 在宅医療を

されていました。 連携し、老健施設を早く して町立病院を維持して 障害のある方への配慮が 廊下とも、 いること。医療と介護を 性に気配りがされており、 の連携を図っています。 辰野町から学んだこと 新しい病院は、

施設を町営で運営してお 入所させるなど、 また、 病院の退院者を即時 54床の老人保健 間取りや安全 病室・ 病院と

こと。そして大震災に備 うことでした。 えて新築を決断したとい から町営で運営している 町民に必要な病院と すことを考えた「産直 を活性化させ雇用を増や 家をどう支えるか、地域

町立辰野病院

病院めざす辰野町新築で住民本位の

人口2万1、680人

どの果物、 リーンファーム」でした。 ゴ・ナシ・ キノコ類、 にある産直市場「伊那グ 市場には地元で採った 視察3日目は、 ブドウ・柿な 地元商店の惣 青野菜、リン 伊那市

昭和4年に建てられた

ド。人は楽しいところへ て「楽しい」がキーワー 品数が豊富なこと、そし

のです。

守る直売所となっている

ト。ここが地域の農業を

費者にすることがポイン

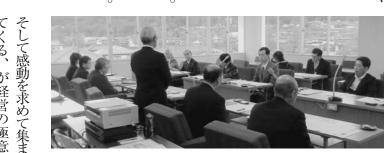
韓国、 ります。 農家婦人の小遣い稼ぎだ これまでに中東8カ国、 現在は、中山間地域の農 けの小規模なものでした。 視察団があったそうです 建物で、ビニールハウス の部屋もある市場には、 など、あらゆるものがあ 菜類、そのほか古道具類 イカ、ネパールなどから 日用雑貨、 開業して20年。当初は 手作りで造ったような アフリカ、ジャマ 山野草、 苗木

現在は10億円に。 額は、当初の5千万円が 800人にも。 るお客で一日1、500 現在は2、150人に。 60人の生産者だったのが 場」となっています。 人、5月の連休には3、 一日の来客者はレジを通 市場に人が集まるのは 売り上げは倍々で増え、 年間売上

ファーム

伊がグリーン産直市場

時に消費者にもなってお 目 では生産者が年金プラス 200万円ですが、市場 80歳の老夫婦の年間1、 そして感動を求めて集まっ 100万円を稼ぐことを てくる、が経営の極意。 2千人の生産者が、 標にしているとのこと。 一番出荷額が多いのは 生産者を安定した消 同



視察のようす

市

みんなでやっとるで~

町内のがんばっている人を紹介します!



Gーソウル

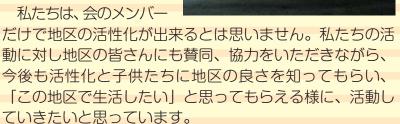
設 立 平成 19 年 4 月 会員数 37 人

活動方針

活動を通して地区の伝統・文化の継承 と子供たちに地区の良さを知ってもらい 定住に繋げる。

私たちGーソウルは、平成19年に五ヶ所浦地区の活性化を目的に9人のメンバーでスタートし、現在37人で活動を行なっています。主な活動は、夏の五ヶ所天王祭で休止となっていた五ヶ所川での灯籠流しの復活を始め、秋の神祭での神輿で地区の練り回りや菓子まき、冬の風物詩となりつつある五ヶ所児童公園でのイルミネーションなどを

行なっています。



※G-ソウルで一緒に活動してくれる加入者を待っています。



議会だよりでは町のがんばり屋さんを募集しています。自薦他薦は問いません。 どんなことでもかまいません。 ※下記の議会事務局まで

議会広報特別委員会

委員長 林 孝充 國委員長 掛橋 靖

議長上村久仁

議会を傍聴しませんか

3月定例会が開催されます。 開催は**3月1日~3月22日**の予定です。 是非傍聴してください。

(当日、総務課で受付をすれば〇Kです)

全員協議会のようす

全員協議会を月に1 度、定期的に開催する ようになってから、1 年が経過しようとして います。町長はじめ執 行部との有意義な意見 交換の場ともなってお り、より良いまちづく りにつながっていくと 体感しております。こ れからも議会改革に努 めてまいります。

